



一隅を照らす運動総本部だより
No. 56



一隅を照らす運動ホームページアドレス
<https://ichigu.net>

第18回

心のつどいin比叡山

11月6日 比叡山延暦寺会館

第十八回「心のつどいin比叡山」(一隅を照らす運動総本部主催)を比叡山延暦寺会館で開催。十一月六日、一般公募で集まった男女十八名が参加した。

本年は新型コロナウイルスの影響を鑑み、例年実施していた宿泊並びに室内にて、実施する行事を控え開催した。

開講式では、森定慈仁一隅を照らす運動総本部長、雲井雄善企画運営委員会委員長、一隅を照らす運動広報大使露の団姫師から挨拶があり、続いて日程説明や注意事項等の説明の後、

研修会がはじまった。

最初に諸堂参拝として「根本中堂」「釈迦堂」「瑠璃堂」を巡拝した。比叡山延暦寺では、大法会の特別記念事業とし



て六十年ぶりとなる総本堂根本中堂の改修事業を行っている。根本中堂では、作業用の足場により、屋根と同じ高さから迫力あるお堂の様子を見学することができた。また、

当日は織田信長による焼き討ちの兵火を免れた唯一の建物である、西塔瑠璃堂並びにご本尊「薬師如来像」の特別公開(現在は終了しております)がされており、貴重な機会での参拝となった。

参拝後、一隅を照らす運動広報大使露の団姫師を講師に迎え、延暦寺会館「瑞峰」の間にて講演が行われた。講演後は、閉講式並びに記念撮影を行い日程は終了となった。

研修会を終えた参加者らは「初めて参加させていただきました。大変有意義な時間を過ごすことができ、感激いたしました」、「本年は情勢を鑑み、実施されないと諦めていたが開催されると聞き、大変嬉しく思



いました」と感想を述べていた。

第三十五回

全国一斉托鉢

令和二年十二月一日、第三十五回全国一斉托鉢が開始された。十二月の「地球救援募金強化月間」中は各教区本部を中心に戸

別托鉢や街頭托鉢が展開され、師走の恒例行事となっている。本年はコロナ禍ということもあり、各教区それぞれの地域情勢に合わせての実施となった。予期せぬ事態の中、令和三年二月四日現在で二十八会場の実施報告があった。

全国での募金総額は九百三十五万二千七百九十六円で、これらの浄財から地域社会福祉向上のために地元の社会福祉協議会やNHKの歳末たすけあいなどに届けられたほか、一隅を照らす運動総本部「地球救済事務局」に四百六十六万二千四百四十九円が寄託された。

各地の様相

(令和三年二月四日までに各教区より提出された報告書の内容を掲載)

延暦寺一山

令和二年十二月一日、比叡山麓の天津市坂本地区二帯で行われ、今回で三十五回目を迎えた全国一斉托鉢には、延暦寺一山住職や職員、総勢約五十名が参加した。

例年、午前九時より、法螺貝の音を合図に生源寺を出発するが本年においては、コロナ禍のため使用しなかった。托鉢を実施するにあたり「托鉢実施にあたっての衛生



配慮に関する注意事項」を作成し、コロナ対策を講じた上で行った。また、坂本町内への事前説明においても例年より丁寧を実施した。平日であったが、前年以上の喜捨をいた

だき、「厳しい時代を乗り切れるように宜しくお願い致します」とのお声も頂いた。なお、当日寄せられた浄財はNHK歳末たすけあいとNHK海外たすけあいに寄託された。

兵庫教区本部

・第二部では十二月五日、本年は新型感染症の影響により、戸別托鉢は実施せず福徳貴寺にて多紀叡山講役員並びに寺院関係者、総勢十一名で法要を執り行った。

浄財については事前に法要の会場である福徳貴寺により取りまとめられ、法要内で募金協力者各家の先祖回向、家内安全等の読み上げを行った。丹波篠山市社会



福祉協議会に十二万円、加東市社会福祉協議会に二万円、三田市社会福祉協議会に二万円、地球救済事務局に九万三千八百円を寄託。

・第三部では十二月一日、福田寺・西岸寺・常行院檀徒各地域の三ヶ所にて総勢四十五名が戸別托鉢を実施。上記三ヶ所に分散して集合し、各寺院本堂前にて法楽を行った後、各檀徒地域内を各担当寺院世話人の案内で戸別に訪問した。各家では訪問すると玄関前に出てきて、読経を真剣に聞き入っていた。加西市社会福祉協議会に十万円、姫路市社会福祉協議会に四万八千五百円、地球救援事務局に十四万二千五百円を寄託。

・第四部では十二月一日、姫路駅前から姫路城前までの間にて総勢十一名が托鉢行脚を実施。姫路駅前・山陽百貨店前・姫路城前の複数場所において移動しながら街頭托鉢を実施。般若心経を唱えながら



リーフレットやティッシュを配布した。新型コロナウイルスの影響によりリーフレット等の配布物を手渡しすることが困難な状況であった。しかし、そのような状況でも募金して下さる方や天台宗について質問して下さる方が複数おられた。地球救援事務局に七万九百七十三円を寄託。

・第五部では十二月一日、正福寺、美方郡新温泉町湯・細田・歌長地区にて総勢十八名が地区を巡回し、托鉢を実施。毎年と同様に檀信徒からの協力を得ての実施となった。戸口で待つ檀家や後から追いかけて募金をして下さる方もあり、地域の風物となっている。日本海新聞にも掲載されたが僧侶が列をなして行脚する姿は手を合わしたくなる。新温泉町社会福祉協議会に十万円、地球救援事務局に九万四千三百円を寄託。

・第六部では十一月二十九日、白毫寺檀中

にて総勢三名が戸別托鉢（一部の檀家）、白毫寺門前にて街頭募金を実施。また、同寺において十一月二十三日から十二月一日まで持ち寄られる募金の受付を行った。十一月中盤より急激な新型感染症の拡大が始まったため、第六部全体の戸別托鉢を中止することとなった。しかし、「コロナ禍だからこそ、弱者への手助けが必要である」と住職並びに檀徒総代の合意により実施の運びとなった。また、以前より檀信徒と深い縁のあるPMSパシニヤ・メッタ・サンガが運営する禅定林周辺地域の大きな水害による水没や、令和二年七月豪雨災害で被害を受けた地域へ手を差し延べることが呼びかけられた。PMSインド禅定林周辺地域水害復



興支援に三万円、九州西教区七月豪雨被災地復興活動支援に二万円、地球救援事務局に一万二千五百円を寄託。

十二月一日、寄付金



受託式を実施。当初実施予定をしていた蓮華寺檀中においての戸別托鉢が新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、中

止となったためである。しかし、「托鉢がはじまった当初より続けていた地元の社会福祉協議会への支援を絶やすことなく継続すべきである」との総意により、第六部寺院檀信徒会から地球救援募金として寄付をいただいた。安穩寺において、木下政夫檀信徒会長から旭成海副主事に寄託。受けとった寄付金は丹波市社会福祉協議会に二万円を寄託。

岡山教区本部

・第一部より三万円を地球救援事務局に寄託。

・第二部では寄せられた十二万円を第二部災害募金、九万五千六百八十八円を地球救援事務局に委託。

・第四部では各寺院より寄せられた五万円



を玉島社会福祉協議会、二十二万六千四百六十四円を地球救援事務局に寄託。
 ・第五部では部内各寺院より寄せられた三万円を山陽新聞津山支社に寄託。
 ・第六部では部内各寺院より寄せられた五万円を地球救援事務局に寄託。

山陰教区本部

・十二月一日、第一部、第二部において、
 本年は新型コロナウイルスによる状況を鑑み、各
 部寺院より浄財が集められた。地球救援
 事務局に第一部より一万五千元、第二部
 より八万四千八百八十四円を寄託。

四国教区本部

十二月一日、第三部松岳寺・久枝地区に
 て総勢五名が戸別托鉢を実施。コロナの影響
 もあり、実施を懸念する声もあったが、
 地域ではめずらしい托鉢に好意的であった

ように感じた。地球救援事務局に三万八百
 九十一円を寄託。

九州東教区本部

九州東教区では、教区の方針により托鉢
 は中止と決定された。部内各寺院より寄せ
 られた浄財を地球救援事務局に寄託した。
 第一教部より三万円、第二教部より五万円、
 第三教部より四万五千元、第四教部より三
 万九千元、第五教部より一万五千元、第六
 教部より一万円を寄託。

九州西教区本部

九州西教区では新型コロナウイルス感染
 防止の為、教区の方針により托鉢は中止と
 決定された。部内各寺院では一隅募金活動
 の実施、人住職並びに総代より寄せられた
 浄財を地球救援事務局に寄託した。筑前部
 より一万四千五百円、久留米部より三万二
 千五百円、柳川部より一万五千六百円、
 肥前東部より六万八千五百六十七円、肥前
 西部より二万六千元、対馬部より三万円を
 寄託。

三岐教区本部

九月二十三日、本年はコロナ禍のため、
 檀信徒が集まる事が困難であるとの判断に
 より、やむなく托鉢は中止されたが、岐阜

一部圓興寺にて各部主事五名が法要を実施
 し、各自募金を持ち寄った。地球救援事務
 局に十万円を寄託。

東海教区本部



十二月二
 十一日、覚
 王山日泰寺
 にて総勢八
 名が募金活
 動を実施。
 托鉢実施日
 は、覚王山
 日泰寺の御
 縁日にあた
 り露店にて
 屋台店が建

ち並び、コロナ禍にも関わらず老若男女の
 人で賑わい、全ての人々がマスクを掛け、参
 拝と買い物兼ね、一時の安心を味わって
 いる様に見受けられた。その中、僧侶が「地
 球救援の募金をお願いします」との呼びか
 けに、参拝者の方々の善意にて、募金活動
 が円成した。募金された皆様から「ごころ
 う様」との声があり、協力的であった。中
 日新聞に五万円、天台仏教青年連盟に十一
 万八千二百九十三円、地球救援事務局に五
 万円を寄託。

信越教区本部



十二月五日、善光寺仁王門周辺にて総勢十一名が街頭

托鉢を実施。

新型コロナウイルス拡大の状況での実施であったので、リーフレット・ティッシュは直接渡さずに机を

用意して信徒さんに取ってもらうようにした。また、マスク着用、ソーシャルディスタンスを確保し実施。例年より少なかったが、土曜日に行ったので、コロナ禍の中では多くの方々に協力を頂いた。ティッシュをかわいいと言ってくださる方が多くいらつしやう。地球救援事務局に七万八千七百九十四円を寄託。

神奈川県本部

十一月一日から十一月三十日の期間を設けて教区内各寺院にて、托鉢募金を実施。

本年は新型コロナウイルス拡大防止の観点から、街頭での托鉢は控えることとなったが、合計五十五ヶ寺の寺院に浄財が寄せられた。神

奈川県社会福祉協議会に十万円、かながわコロナ医療・福祉等応援基金に十万円、教区仏教青年会救援募金に五万円、地球救援事務局に二十万円を寄託。

東京教区本部

東京教区では新型コロナウイルス感染者が多く出ていた為、托鉢参加者や募金協力者の安全を第一に考え、九月十九日から十一月三十日まで教区内寺院にて募金箱を使用する形で実施した。ポスターに趣旨を記載し、各寺院の参詣者より浄財を集めたが一様に理解を得られた。あしなが育英会に二十万円、港区社会福祉協議会に十万円、地球救援事務局に二十万円を寄託。

北総教区本部

北総教区本部では新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、教区内各寺院に募金箱を設置しての実施となった。本年六月に各寺院に募金箱設置を依頼し、法事や盆行事などで寺院に立ち寄った檀信徒より浄財を募った。地球救援事務局に三十一万二千九百四十八円を寄託。

南総教区本部

十二月一日、第二部各寺院では新型コロナウイルス対策として街頭募金は行わず、寺院ごと

に募金活動を行った。タイ・プラティープ財団に四万円、地球救援事務局に四万五千二百六十七円を寄託。

埼玉教区本部



十二月一日、

川越駅周辺並びに第二部喜多院境内にて総勢二十三名が街頭募金を実施。コロナ禍の影響がある中での実施で、ご協力いただけないのでは？と不安もあったが、人の往来もあり多くの方からご協力をいただいた。「ご苦労様」「頑張ってくださいね」など温かい言葉をかけてくださる方がほとんどで、励みになった。天台仏教青年連盟に九万七千六百九十四円、地球救援事務局に十五万円を寄託。

群馬教区本部

・南前橋部では十二月五日、壽延寺周辺にて総勢六一名が戸別托鉢を実施。群馬教区本部に三十二万八千五百八十七円、地

球救援事務局に五十万円を寄託。

・北前橋部では十二月十七日、前橋商工会議所周辺にて行われた檀伝会議にて総勢四十五名が募金活動を実施。群馬教区本部に三万四千七百六十円、地球救援事務局に四万円を寄託。

・西前橋部では十二月一日、妙見寺周辺にて総勢五十七名が戸別托鉢を実施。上毛新聞社に五万円、群馬教区本部に七万円、仏教保護会に五万円、高崎市社会福祉協議会に五万円、地球救援事務局に十万円を寄託。

・高崎部では十二月十四日、部内各寺院にて部内住職が戸別托鉢を実施。群馬教区本部に三万円、地球救援事務局に三万円を寄託。

・富岡部では十二月一日、部内住職また仏教会と合同で戸別托鉢を実施。社会福祉協議会に十四万五千円、群馬教区本部に一万円、地球救援事務局に二万円を寄託。

・多野部では十一月十二日、部内各寺院にて部内住職が戸別托鉢を実施。群馬教区本部に二万円、地球救援事務局に一万円を寄託。

・北群馬部では十二月七日、部内各寺院にて部内住職が戸別托鉢を実施。群馬教区本部に十四万円、地球救援事務局に十二万八千六百三十一円を寄託。

・沼田部では十一月十二日、部内各寺院にて部内住職が戸別托鉢を実施。群馬教区本部に二万円、地球救援事務局に一万円を寄託。

・桐生部では十一月十六日、部内各寺院にて部内住職が戸別托鉢を実施。群馬教区本部に六万円、地球救援事務局に四万円を寄託。

・東前橋部では十一月十九日、部内各寺院にて部内住職が戸別托鉢を実施。群馬教区本部に六万円、地球救援事務局に六万円を寄託。

・伊勢崎部では十一月二十日、部内各寺院にて部内住職が戸別托鉢を実施。群馬教区本部に十七万円、地球救援事務局に十七万八千三百円を寄託。

・世良田部では十一月二十四日、部内各寺院にて部内住職が戸別托鉢を実施。群馬教区本部に一万円、地球救援事務局に一万円を寄託。

・下仁田部では十二月十四日、部内各寺院にて部内住職が戸別托鉢を実施。群馬教区本部に一万円、地球救援事務局に一万円を寄託。

・西群馬部では十二月十日、部内各寺院にて部内住職が戸別托鉢を実施。群馬教区本部に一万円、地球救援事務局に一万円を寄託。

栃木教区本部

十二月一日、J R宇都宮駅西口ロータリー内にて総勢二十九名が街頭募金を実施。やはり、十二月の托鉢は寒く、駅前の通行人は多いので、効果はあると思われた。しょうぐうさんと共に募金活動を行ったため、学生や若い世代の反応は良かった。地球救援事務局に四万九百五十三円を寄託。

福島教区本部

・福島教区本部では十二月一日、郡山市三穂田町内にて総勢二十九名が街頭募金が実施。当日は天候に恵まれ、周辺住民等にご協力いただき、



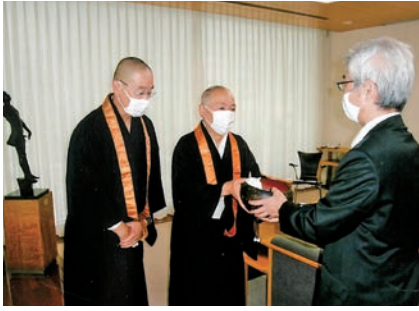
募金が集まった。コロナウイルスの影響か、事前に案内していたにもかかわらず、街頭に出ていただけの方は少なかつた。

郡山市社会福祉協議会に三万円、地球救援事務局に四万八千四百九十八円を寄託。

山形教区本部

十一月六日から十二月十日の期間、山形教区全寺院において各々募金活動を行った。新型感染症予防のため、当初予定していた新庄部での実施が中止となり、他地域でも街頭募金の自粛となる中で、教区全寺院にて募金の協力を個別に募ることとなった。

十一月初旬に議会・主事会で告知したこともあり、多くの浄財が寄せられた。十一月下旬から山形においても感染者が急増している中でも、こんな時世だからこそと、本



尊の前に置かれた募金箱へと施す姿は心温まるものであった。山新愛の事業団に七万一千五百七十二円、地球救済事務局に十三万二千円を寄託。

令和二年度支部活動事業認定支部

一隅を照らす運動総本部では、平成十九年度より宗祖大師のお言葉「己を忘れて他を利するは慈悲の極みなり」の精神で社会奉仕活動を実践する支部を奨励し、助成を行っております。令和二年度の認定支部は次のとおり九支部。(申請時の内容を掲載)

兵庫教区本部

常行院支部 (岡山亮徹支部長)

① 山下城跡周辺保存会 ② 十年 ③ 兵庫県加西市山下町 ④ 城山の保全整理、環境整備や植栽、竹林の伐採・整理、景観の確保等を行っている。八月末には檀徒・小学生を対象にした、灯ろうづくりを実施。

白毫寺支部 (荒樋勝善支部長)

① コスモスによる自然環境保全事業 ② 一年 ③ 兵庫県丹波市市島町 ④ 過疎のため休耕田が多く、荒廃が目立つため、景観の改善と自然環境保全を目的に、一隅を照らす運動の啓発を推進。圃場備作業、種まき作業、除草作業、採種作業及び種の配布、

開花中の公開並びにSNSによる開花状況の報告、自然環境のPR活動を実施。

山陰教区本部

弥勒寺支部 (柴山宣慶支部長)

① 弥勒寺一隅会婦人部 ② 四十年 ③ 鳥取県鳥取市青谷町 ④ 境内の草取りや本堂・位牌堂の清掃を定期的に行い、年一回比叡山参拝や秋の霊場巡りを実施。毎年二月十一日には「弥勒寺一隅大会」を一隅会とともに開催し、檀信徒の発表会、講師を招いての講演を行っており、講演後の懇親会にてまかない料理を出している。「大般若会式」や「大師講」の際にもおこわを配布。

三岐教区本部

寶光院支部 (鈴木孝慈支部長)

① 杭瀬川並びに野口町内清掃 ② 五十年以上 ③ 岐阜県大垣市 ④ 年一回、檀信徒に声をかけ、寺院のまわりや周辺を流れる杭瀬川を清掃している。特に杭瀬川の中に不法投棄された大型のゴミや缶、ビンなどの不燃物なども非常に多く、処理にも大変な手間をかけており、檀信徒の皆さまにも苦慮しながら、参加いただいている。

信越教区本部

正教院不動教会支部(山崎晃圓支部長)

①池ヶ原老松会 ②三十五年 ③新潟県小千谷市 ④池ヶ原神社の春の雪消し、冬囲い外しや境内・参道の清掃を実施。また、祭前の清掃、冬期前の清掃と狛犬の囲い等も実施している。

群馬教区本部

禪養寺支部(小出祥弘支部長)

①寺献会 ②十五年 ③群馬県前橋市山王町 ④子どもたちの安全、安心を願う学区内の清掃、寺院行事への青少年の参加促進、環境整備・保全活動、一隅を照らす運動の周知をはかり地球救援募金への協力促進に取り組んでいる。これらの事業を通して青少年の健全育成と学寺交流を指標に、地域社会の一端を担えるよう、一乗思想の実践化と生活化に努めていく。

茨城教区本部

來迎院支部(深谷尚永支部長)

①御詠歌・読誦会・仏教文化・火防祭・研修会・奉仕作業 ②十六年 ③茨城県電ヶ崎市 ④御詠歌、読誦会、仏教文化、火防

祭、研修会、奉仕作業等の事業を講員一同喜んで活動している。終了後は車座になり、法話や近況報告、研修会を行っている。

陸奥教区本部

黒石寺支部(藤波大吾支部長)

①竹あかり ②四年 ③岩手県奥州市 ④細工を施した竹を境内の一角に並べ光による異空間を作り上げている。お盆期間中の夜、境内を一般に開放し、訪れた方に幻想的な光の空間を楽しんでいただくとともに、里帰りをしている精霊達に想いをはせ、命への感謝を思い起こし、自らの心の中に美しい光を灯す機会を提供。また、竹を切り出すことで、近隣の竹林の環境整備にも貢献。

安楽律法流本部

宗休寺支部(佐藤舜海支部長)

①小さなチャレンジ、みんなで育てる ②二年 ③岐阜県関市西日吉町 ④宗休寺の安楽会館と境内、敷地内にあるカフェ茶房宗休の一角を使用し、毎月イベントを開催。「宗休寺が人々の憩いの場として人と人が繋がるふれあいの場として人の縁が広がるよう、誰もが好きなことを企画して、交流

したい」という考えのもと関市で活動する市民を中心に企画し開催。主な行事として日程決めの寄り合い、おしゃべりランチマーケット、御縁市、お寺巡りマルシェ、不登校の居場所作り等を実施。

一隅を照らす運動推進大会

○九州西大会

九州西教区本部(嘉瀬慶文教区本部長)では、令和二年十月二十五日に長崎県新上五島町の伝教大師像前並びに荒川体育館を会場に一隅を照らす運動九州西大会を開催し、三百名が参加された。また、大会の様



子をYouTubeに配信し実施された。はじめに嘉瀬教区本部長導師のもと、新上五島町荒川郷に建立された伝教大師像の周年記念法要、



不滅の法燈
入燈式並び
に疫病（新
型コロナナ
イルス）退
散祈願法要
が厳修され
た。

宗務総長
代理として
甘井亮淳財
務部長、森定慈仁一隅を照らす運動総本部
長より挨拶がなされた。

次に、比叡山延暦寺前執行小堀光實師
（現・延暦寺大霊園園長）による「伝教大
師の教え〜一隅を照らす〜」と題した講演
が行われた。小堀師は、「今いる場所です精
一杯力を発揮することが一隅を照らすこと
になる。皆様の心を大切にしながら、伝教
大師の教えを多くの人のびとに弘めることが、
伝教大師や山王の神のご恩に報いることだ
と思う」と教示された。参加者一同貴重な
内容に聞き入っていた。

続いて、一隅を照らす運動広報大使であ
る露の団姫師による「一隅を照らす〜自分
の持ち場で一生懸命〜」と題した講演が行
われ、終始笑いの絶えない講演となった。

最後に、鷲谷順照一隅を照らす運動九州

西教区事務局長、濱崎健也荒川郷長より謝
辞が述べられ終了した。

一隅を照らす運動ニュース

◎NHKに浄財を寄託



令和二年十二
月十八日、総本
部は「NHK歳
末たすけあい」
と「NHK海外
たすけあい」へ
義援金を寄託し
た。

NHK大津放
送局から北村幸
弘局長に来庁い
ただき、阿部昌
宏一隅を照らす運動理事長、水尾寂芳同運
動副理事長から目録が手渡された。

歳末たすけあいには、十二月一日に比叡
山山麓坂本地区で行われた「天台宗全国一
斉托鉢」戸別托鉢にて寄せられた浄財五十
万五千十一円。

海外たすけあいには、地球救援事務局か
ら五十万円がそれぞれ寄託された。

また、寄託式には比叡山幼稚園から代表
して武田功正園長も出席し、比叡山幼稚園

の有志による浄財が北村局長に手渡された。
「歳末たすけあい」「海外たすけあい」は
国内外の支援の必要な方々のために役立て
られる。

◎比叡山高校宗内生が托鉢浄財を寄託



令和二年十二
月二十三日、比
叡山高校の宗内
生三名、山田真
裕さん（二年）、
西郊良寛さん
（二年）、小川大
輝さん（一年）
と長山弘範山家
寮寮長が来庁し、
令和二年十二月
五日に行われた

「寒行托鉢」で集まった浄財九万九千二百
六十三円を地球救援募金として、一隅を照
らす総本部に寄託した。

この托鉢は、宗内生が実践仏教の一環と
して、大津市仰木地区において毎年行っ
ているもので、黒素絹に手甲、脚絆、網代笠
姿に装束を整え、各家々を行脚した。

◎三千院門跡が浄財を寄託

令和三年一月八日、三千院門跡の穴穂行



一帯で、令和二年十二月二十日に実施された、歳末の恒例行事である「托鉢寒行」で集まったもので、地球救援事務局の様々な救援活動に役立てられる。

◎第二回理事会

新型コロナウイルスの影響並びに緊急事態宣言の発令を鑑み、文書審議にて令和二年第二回「一隅を照らす運動」理事会を実施し、令和三年度一隅を照らす運動の事業計画、各会計の予算等が審議・承認された。

また、今回の理事会において理事長、顧問、専務理事、理事、企画運営委員の改選があり、それぞれ承認・報告された。

仁執事長、宇田泰観総務部長が天台宗務庁に来庁し、一隅を照らす運動総本部へ五十八万一千七百三十六円の浄財が寄託された。

この浄財は、京都市左京区大原の三千院

【理事長】阿部 昌宏師

九州東教区 観音院住職…新任

雲井 雄善師

兵庫教区 能福寺住職…再任

【顧問】今出川行雲師

京都教区 毘沙門堂門主…新任

【企画運営委員】雲井 雄善師

兵庫教区 能福寺住職…再任

杜多 道雄師

東京教区 大泉寺住職…新任

寺島 清弘師

延暦寺一山 尊林坊住職…再任

【専務理事】竹内 純照師

京都教区 吉祥院住職…新任

安藤 雅仁師

東海教区 龍徳寺住職…再任

【理事】小林 祖承師

延暦寺一山 止観院住職…新任

長道 圓俊師

岡山教区 圓融寺住職…再任

甘井 亮淳師

九州西教区 大善寺住職…再任

清原 徹雄師

延暦寺一山 惠雲院住職…新任

船戸 俊宏師

茨城教区 如意輪寺住職…新任

金子 貴昭師

東京教区 永安寺副住職…新任

岩田 真亮師

信越教区 領法寺住職…新任

東海教区 高田寺住職…新任

柴田 真成師

神奈川教区 寶塔寺住職…新任

覆本 昇道師

神奈川教区 寶塔寺住職…新任